



総合通信基盤局電波部電波政策課調整係長

齊藤 浩之
SAITO HIROYUKI

平成 20年 10月 総務省採用
総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課
平成 23年 7月 総合通信基盤局電波部基幹通信課
平成 25年 7月 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成 26年 8月 総合通信基盤局電波部移動通信課主査
平成 27年 4月 総合通信基盤局電波部衛星移動通信課航空係長
平成 29年 7月 現職



目に見えないインフラを守る

スマートフォンの未来

スマートフォンの未来と聞いて、皆さんはどんなことを思い浮かべられるでしょうか。「画面がもっと大きく高精細になる」、「手で持ったままワイヤレス充電ができる」といったことをイメージするでしょうか。実は、こうした新たな技術にも、総務省が密接に関わっています。総務省では、高精細な映像が大画面で楽しめる、最新の携帯電話システム「5G」の実現に向けた取組や、スマートフォンのワイヤレス充電に活用される無線技術のルール作りなどに取り組んでいます。

様々な最先端技術を、国民の皆様に使ってもらうための取組を進めることは困難を伴うことも多いですが、新しい技術が世の中に普及していく様子を間近で見ることができるのは、総務省にしかない魅力の一つだと思っています。

電波が支える暮らし

電気や水道やガスが使えなくなったら困りますよね。同じくらい「無線通信」も皆さんの暮らしに必要な不可欠なものとなっています。先ほどご紹介した最新の無線技術以外にも、消防無線、航空・海上無線など、暮らしの安全に欠かせない大切な役割を担った無線技術がたくさんあるのです。

ただ、電波は無制限に使っていいものではありません。信号や標識を守らないと、道路で人命の危険や物流の停滞を招いてしまうように、電波の世界も、ルールを守らなければ、命に関わる重要な通信や、ビジネスに不可欠な通信に混信が発生してしまいます。

無線通信に混信が起きないようにするため、免許制度等による規律や、電波監視を行うのも、総務省の役割です。幅広い仕事に触れていけば、きっと皆さんの知的好奇心を満たす仕事に巡り会えるはずです。

ぜひ気軽に総務省に官庁訪問に来てみてください。

Q 総務省を志望した理由は？

A ADSLが満足にカバーされていない地域に住んでいたときに、市が実施する光ファイバー敷設施策を総務省と共同で実施していたと知ったことが、志望のきっかけとなりました。通信サービスが十分に行き届いていない地域に、より良いサービスが提供されるよう、利用者目線の取組を行っている総務省で、今まで自分が学んできたことを活かして働けることに魅力を感じました。

Q 一緒に働くならどんな部下？

A 尊敬する上司が「齊藤さん、『どうしましょう』と相談するのではなく、自分がどうしたかを考えてみましょう」、「でも困ったときは笑顔で『助けて〜』と言えばみんな助けてくれるよ」と助言してくれたことが今でも印象に残っています。一緒に働くなら、どんな仕事もまず一生懸命に取り組み、手に負えないときは抱え込まないバランス感を持った人がいいですね。

Private Time

休日は、3歳になる息子の相手をして楽しく過ごしています。「はたらくくるま!」と言われれば散歩に、「ひみつきち!」と言われればボールハウスの組立て、と奔走しています。余裕があれば、遊園地などに出向いて、息子の喜ぶ姿を見て癒やされています。

